

台風 15 号の医療支援で千葉県に出動

関東地方を直撃した台風 15 号により、千葉県内の医療機関が停電などにより、大きな被害を受けました。千葉県から茨城県に DMAT（災害



派遣医療チーム)の要請があり、社会医療法人達生堂「城西病院」の茨城 DMAT チームは、9月9日午後9時40分に出発、DMATカーと救急車の2台、隊員6人のチームで現場に急行しました。午後11時50分に到着したのは、千葉県木更津市内の君津中央病院。この病院には君津市内の療養医療機関から避難した約100人の患者が収容されていましたが、この病院も自家発電で対応。茨城県から11医療機関から12チームが続々と集まり、千葉県はもとより、神奈川県内の医療機関に緊急搬送しました。

城西病院の DMAT は、10日午前零時35分に千葉労災病院に1人を搬送、神奈川県川崎市の病院に1人を搬送。小休止をし、午前9時に横浜市の病院に1人を搬送、午前11時55分に国立千葉医療センターに1人を搬送しました。

千葉県内では、台風の影響で77の医療機関が停電、23の医療機関が断水。君津市で全患者が避難した医療機関は、停電した上に食料や水の備蓄が少ないということで、君津中央病院に一時避難。10日午後には自衛隊の大型ヘリを使い、最後の8人の患者を柏市などの医療機関に搬送しました。

城西病院の DMAT が搬送した患者さんは「これからどこに行くの」「いつ病院に戻れるの」など不安を口に、医師や看護師が「大丈夫ですよ、安心して」と声をかけながら搬送していました。

DMAT チームは9月7日に全国規模で行われた関東地区の大地震を想定した訓練に参加。茨城県内の DMAT は千葉県での活動で、船橋市立医療センターに設けられた東葛南部エリアの活動拠点本部で、通信や記録、広域災害救急医療情報システムの運用などを



全国規模で行われた訓練

担当。今回の災害救援では、その時の経験を生かして、情報収集や患者搬送を行っていました。

2019年9月11日

